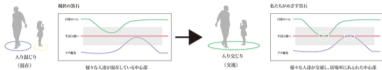


## 交わりの場をまち全体に作ります



### 3-1 小見世コミュニティ

#### 3-1-1 小見世コミュニティでつくる交わりの場



【小見世コミュニティ】

「私」を「公」にする「入り交じり」によって生まれる新しいネットワーク

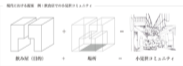
【セミ・パブリックの概念】

私有地・共有地に問わず人の居場所を作り出す事に重点・積極的であるという考え方

セミ・パブリックとは、本来私有である場所が公共空間のように扱われる事をいいます。古来この場所は、本来公共である公園や神社等に似て自然に提供された空間（こみせ等）でコミュニティを営んでいました。こみせは同時にその空間のように開放し「小見世コミュニティ」として居るの場にも活用する事にしました。「小見世コミュニティ」をまちじゅうに広げることで、様々な人達の交わりの場にもある居る中心部をつくれます。



+



市民の誰もが小見世コミュニティの一員です



#### 3-1-2 小見世コミュニティの置き場所



居るでも古来のコミュニティが築いてきた歴史的な場所や公園などに限らず、駅や河原町の公園のように様々な人達が利用する施設中、今は開けていないとしても入り交じりの可能性がある場所なども小見世コミュニティを築きます。

